

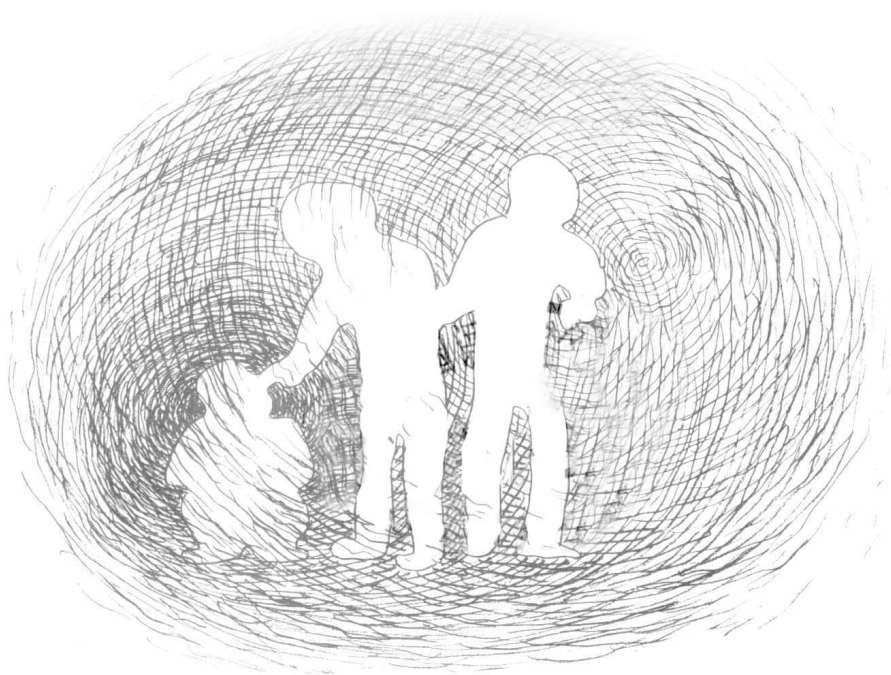
尾辻克彦

書下し長編舞台小説

ジルバー・ロード



シルバーヨロード



尾辻克彦

創樹社美術出版

シルバー・ロード

0093-0010-4270

昭和58年8月10日 初版第一刷発行 定価1200円

著 者 尾 辻 克 彦

編 集 者 滝 澤 隆 則

発 行 者 竹 内 達

発 行 所 株式会社 創樹社美術出版
東京都文京区湯島2丁目5番6号
電 話 03 (816) 3331番〈代表〉
振替・東京 3—196874

©尾辻克彦 1983 啓文堂・求龍堂印刷・美行製本
落丁・乱丁本はお取り替え致します

シルバー・ロード／目次

シルバー・ロード

(挿画・赤瀬川原平)

3

解説／ゲンペーさん好調だな……

村松友視

206

あとがき

220

シルバー・ロード

銀村福祉 (年金生活者。八十歳↓百二十歳)

夕暮 迫 (年金生活者。七十九歳↓百十九歳)

りかあけみ (銀村夫人↓生命保険勧誘員)

NHK集金人

出前床屋

(一)

二〇〇一年。高島平団地の五十階。窓の外に青空が見える。ときどき鳥が横切る。飛行機も横切る。窓枠は四角く張った銀色のロープ。その銀色がアルミサッシふうに見れば見える。2DKぐらいの住居のリビングルームのつもり。舞台の下手に入口のドア。舞台上手の方にはゴムの木その他観葉の植木鉢が三つほど、大道具小道具類は必要最小限に。銀村福祉^{ぎんむらふくし}は肘掛椅子で編物、りかあけみはワードプロセッサで日記をつけている。そんなに上手ではなく、ボタンを押した電子音が、ピッ……ピッ……と間が抜けたリズムで聞えている。

銀村　ひと目取ってふた目……、ひと目取ってふた目……。 (編物をしながらの眠そうな声)
りか　本……日は……晴……天……な……。 (ワードプロセッサをピッピッと打ちながらの声)
銀村　ん？ 本日は……。 (と窓を振り返る。この瞬間、青空は一段と青くなつてまたふつうに戻る) 晴天だな。たしかに。 (また編物をはじめ) ひと目取ってふた目……。 ひと目取ってふた目……。

りか　わたし、子供欲しいな。

銀村 子供が……何を……言ってるか……（目は編物を見たまま）ひと目取って……。

りか やあねえ、わたし子供じゃないわよ。

銀村 ん？（編物の手がやみ、眼鏡越しにりかを見上げ、また目を落し編物をはじめ）子供なんて大変だよ、オシッコはするし、ウンコはするし、安眠妨害はするし、一人前になるのに時間もかかるし、金もかかるし……。

りか でも女は子供を産んで初めて一人前だっていうわ。

銀村 （また目を上げてりかを見る）女か……。

りか なあに？ わたし女よ。りか、あけみ。

銀村 たしかに男の名前ではないな。

りか 茶化さないで。私は一人前の女になりたいの。

銀村 一人前ねえ。

りか そうよ。わたし、女です。

銀村 いや女はわかる。でもそれは違うね。子供を産んで初めて一人前になるんじゃないんだよ……。

りか あらッ、どうして？

銀村 子供の身長を伸ばして、精神も伸ばして、成人させて、その成人を家から追い出してだ

な、それで初めて親として一人前になるんだから、産んだだけじゃ一人前じゃないね。

りか でも産まなきゃ育てられないでしょ、成人させられないでしょ。追い出せないじゃないの。

銀村 そりゃそうなんだけど……。

りか ね、そうでしょ、早く子供産みましょう。

銀村 じゃ、まず、子供の教育について考えなきゃね。

りか そんなの生まれて育っていくうちに考えればいい事でしょ。

銀村 生まれてからでは遅過ぎるの！

りか まだできるかできないかもわからないうちから、そんな教育なんてこと……。

銀村 今から考えておかなくちゃ遅いの！ 東大に入れるにはどこの産婦人科がいいのか……。

りか 産婦人科？

銀村 そう。人生は産婦人科からはじまるんだ。東大へ行くにはねえ、名門校に入るだけじゃ追っつかないよ。名門高校、名門中学、名門小学校はもちろんのこと、名門幼稚園よりさらに前に、まず名門産婦人科で産まなくてはいいかん！……………。ひと目取ってふた目……………。ひと目取ってふた目……………。(また眠そうに)

りか だって世の中はどんどん変わるのよ、私達の子供が生まれて三年もたったらどんな時代

になつてゐるかわからないのに、今考えた事なんて何の役にも立たないわよ、三年ひと昔つてい
うんだから。

銀村 そりやお前、十年ひと昔つて、言うんだよ。

りか うそ、三年ひと昔よ。十年なんていったらひと昔どころか、ずーっとずーっと大昔じゃ
ないの。

銀村 あ、そうだったな。三年ひと昔だった。あはは。十年ひと昔なんて、これはもう昔々の
諺だった。

りか ほらね。どのくらい昔なの？

銀村 そうだな、世の中が三年ひと昔の方式を採用してから、えーと……もうなな昔もたつて
しまった。

りか ななむかし？

銀村 そう、七昔ななだよ。昔が七つもたつてしまった。

りか ずいぶんたったのね。

銀村 君は知つてゐるかな？

りか なあに？

銀村 一九八〇年代……。昔はね、一九八〇年代というのがあつたんだよ。

りか ウッソーッ！

銀村 嘘なんかじゃない。昔はね、一九八〇年代というのが本当にあったんだよ。そんな時代にもね、人々は飯なんか食ったりして生きていたんだ。

りか 私は知らないわ、そんな大昔のこと。

銀村 あの時代は、たとえばね、たとえば何だろう。たとえばね、離婚すると男が女に金を払わなければいけなかった。

りか え？ お金払ったりするの!?

銀村 そうだよ。だからお金のない男はね。離婚もできずにずっと結婚したままで死んでいた。

りか 大変な世の中だったのね。

銀村 そう。暗い世の中だった。あとは、そうだなあ。たとえば、自殺なんてしてもね、新聞ではちゃんと「さん」付けで書かれてあったな。名前が。

りか 自殺しても犯人にはならなかったの？

銀村 そうなんだ。いまじゃお前、自殺なんてすれば立派な殺人犯だよ。

りか それはそうよ。自殺は殺人事件だもの。首を絞めて殺したり、ビルから突き落したりするんだもんね。いくら自分といっても。

銀村 そうだ。いくら自分とはいっても、自分にそんな兇悪なことされたんじゃ、自分としては大変迷惑だ……というか、そういう自分って許せない……というか、いや、とにかくこれ、人命軽視になるんだよね。いくら自分とはいっても……。

りか 自分のことって、難しいのよね。(大真面目)

銀村 難しいねえ。考えているとわかんなくなる。(頭を振る)

りか 今は自殺すると死刑でしょ。

銀村 そうだな。昔とは違う。自殺は死刑。自殺未遂は無期懲役。だからね、自殺をうまくやり遂げてあの世へ逃げ込んじゃえばともかく、自殺未遂で生き残ったりしたら、たちまち刑務所行きだね。

りか 無期懲役って、刑務所に入りっぱなしなの？

銀村 そうだ。一生刑務所から出られない。恐いよ。だから今じゃ自殺するのも命がけだ。でも自殺って、昔から命がけなんですよ。

銀村 うん、まあそう言っちゃえばそうだけど。

りか 別にそう言っちゃわなくたって、そうみたい。

銀村 (自家撞着に眉をしかめる) いいんだよう！ そういう言葉じりにいちいちこだわらないの！

りか　すぐ怒る。

銀村　あのね、無期懲役になるともう二度と自殺ができない。

りか　それはそうね。刑務所の中じゃ自殺はできないでしょうね。生きるしかないわね。

銀村　いや、だからね、いったん自殺未遂をしようとして、みんな逮捕を恐れて逃げ回る。それでまたどこかでこっそりと自殺をはかる、そういうケースが非常に多い。

りか　死ぬことって、難しいのね。

銀村　でもいるんだな。今の世の中にたくさんいるんだ。自殺しそなってこっそり隠れ住んでいる犯人。俺はね、連続自殺未遂十七回という男を知っている。

りか　十七回!?

銀村　そう。十七回もやったもんだから全国の警察に指名手配されて、日本中を逃げ回っている。

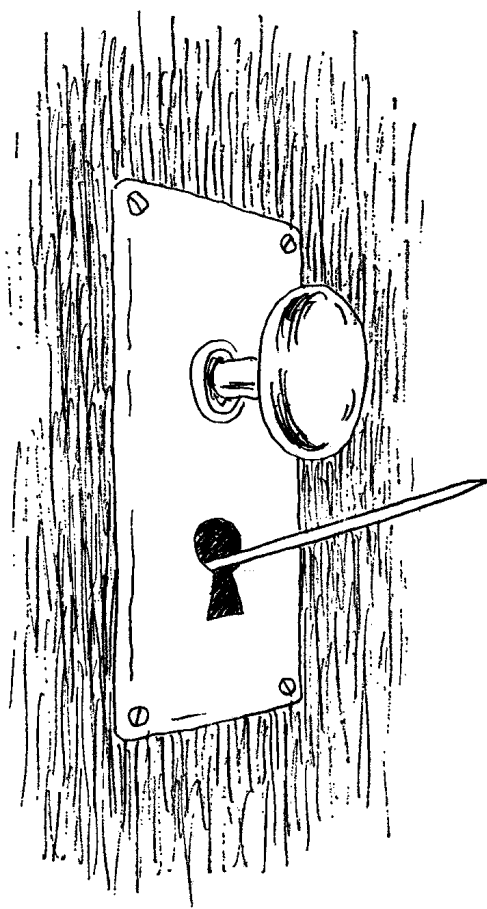
りか　何で知ってるの？　そんな人……。

銀村　いや、ははは、ちよっとね。

りか　あなたまさか……。

銀村　（優しくニヤリと笑う）　いや、その男だけじゃないんだよ。隠れ自殺未遂は、たくさん生きている。

10



りか あっそうだ。日記帳を全部領収書にしちゃうといいわね。

銀村 日記帳を領収書……。

りか そう。毎日毎日、領収書がペラペラ。ゴワサンで願いましては、本日は晴天也、昨日は曇天也、一昨日は雨天也、その前は暴風雨也、その前はまた晴天也。

銀村 そりゃあゴークだ。毎日が領収書っていうのは。

りか これ、いいわよね、領収書。人生全部お金で解決できる感じで。宛名はつまり……、日にちね。「四月一日様 本日は晴天也」で赤いハンコがポーン。

銀村 ……。(しばし感嘆) ゴークだねえ、それが理想だねえ。

りか 人生は毎日が領収書。

銀村 そうだ。人生は全部現金払いだ。

りか そうすると、人生は明朗会計ね。

銀村 明朗だねえ。人生なんてものは、現金払いに限るね。

りか うふふ。現金払いの人生って、何だか力強いわね。手応えのある感じ。

銀村 そりゃそうだよ。ものごとがグングン進むね。

りか でもできるかしら。現金払いって、あれ難しいのよ。

銀村 そりゃ難しい。現金があってもね。みんななかなかやれない。思わずひるむ。このひる

むというのがいけないね。現金払いでは。

りか 銀ちゃんできるの。

銀村 俺はやるさ。玄関に、たとえばねえ、何だろう。「あのNHKですが。お宅、テレビは……」なんて来たりしたら、ひるんだりせずにもうたちどころに現金払い。

でもそれ、よく考えたら玄関払いのことじゃないの？

うーんとねえ、その玄関払いの上にさらに現金払いをぶちかませるわけ。

りか
そうするとダブル払いね。

銀村 そう。ゴーカだねえ。ダブルだよ。ダブル払いだよ。玄関払いに現金払い。(と言いながら左ジャブと右アッパーの手付き。このあたり玄関払いの暴力と現金払いの非暴力とが本人の中でも混同している様子) 玄関払いに現金払い……、玄関払いに現金払い……。(何度も繰り返しながら、繰り返すパンチをいろいろと工夫して変えたりしながらボクシングの構えに熱中)

押し売りなんか吹っ飛んじやうわね。

銀村 そうだよ。強盜だってさ強盜ってのはその、あれでしょう、夜中に出刃包丁持って、家のまわりでガサゴソとやるわけでしょう。こっちは待ち構えていてさ、窓がスーッと開いて片足がニューッと入って来たところで、スパーンと現金払いをくわしちゃう。